



- ①のちをたいせつにする
- ②しきをちえにいかす
- ③がみでかつどうする
- ④れにでもあいさつする

いちえだ



やさしく かしく
たくましく



平成 29 年 3 月 31 日 第 16 号
校長 高城 直子

平成 28 年度 学校評価特集

2月下旬に、児童・保護者にアンケートを行い、本校の平成28年度の取組に関する教職員の自己評価と合わせて学校評価を行いました。お忙しい中、保護者の皆様におかれましては、アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。その結果を簡単にまとめたものが、右の一覧です。上の枠内は成果、下の枠内は課題と考えられるものを挙げています。

BEST 2の項目では、学校で担任等が「基本的な生活習慣のに関する指導」、「あいさつ・掃除に関する指導」、「きまりを守る指導」をしっかりと行ったことの成果として、児童や保護者もそれに当たる項目で、「とても当てはまる」「当てはまる」を選んだ割合が多くなっています。教師による継続的な意識付けや指導によって児童が成長してきたこと、その成長を児童自身が感じていること、児童の姿を見て保護者も成長を感じていただいていることがわかります。、一年間の学校を挙げた取組が実を結んでいることに大きな喜びを感じております。

一方、CやDの評価が多い項目についても、先生方による自己評価と児童アンケート、保護者アンケートの内容がかなり一致しています。「宿題はきちんできると自主学习への取組に消極的なこと」「授業中、自分の考えを書いたり、発表したりすること」などが課題となっており、より意識をして指導を行っていく必要があります。

全体的に「あいさつ名人」や「おそうじ名人」がこの一年間で増えてきたことについては、3月7日（火）に行われた第3回学校関係者評価委員会において、当日出席された3名の評価委員の方々からお褒めの言葉をいただきました。また、本校の特色の一つである「縦割り活動」を年間通じて行ってきたことが「友達・下級生へのやさしさ」や「きまりを守ること」の大切さを意識する児童の育成につながっているというご意見もいただきました。

以上のような成果を「一校小のよさ」「一校小の自慢」として保持していくとともに、以下のキーワードを意識して来年度の教育活動を一層充実させていきたいと考えています。

<平成29年度 キーワード>

- ☆基礎基本を大切にした学力向上・体力向上
- ☆家庭学習の充実
- ☆授業を中心とした思考力・判断力・表現力の育成

<教職員の自己評価 BEST 2>

- ①児童の基本的な生活習慣への指導 3. 9
- ②あいさつ・掃除等の指導 3. 8
- 学校・学級のきまりを守る指導 3. 8

<児童アンケート BEST 2>

- ①毎日宿題をきちんとする 3. 6
- 元気よく遊ぶ・運動する 3. 6
- ②あいさつをする 3. 5
- 友達に親切にする 3. 5
- 掃除を一生懸命にする 3. 5

<保護者アンケート BEST 2>

- ①毎日宿題をきちんとする 3. 6
- 元気よく遊ぶ・運動する 3. 6
- ②学校・学級のきまりを守る 3. 4
- 友達に親切にする 3. 4

<教職員の自己評価 C・D がやや多い項目>

- ① 家庭での自主学習の指導 2. 5
- ② 思考力・判断力・表現力の育成 3. 1
- 体力向上につながる授業づくり 3. 1

<児童アンケート C・D がやや多い項目>

- ① 授業中考えを書く・発表する 3. 0
- まとめをもとに授業を振り返る 3. 0
- 宿題以外の計画的な自主学習 3. 0

<保護者アンケート C・D がやや多い項目>

- ① 宿題以外の計画的な自主学習 2. 7
- ② まとめをもとに授業を振り返る 2. 8
- ③ 授業中考えを書く・発表する 2. 9

上の二つの資料は、教職員の自己評価及び児童・保護者のアンケートの項目についてA：4点、B：3点、C：2点、D：1点として集計した結果から成果や課題ととらえられる項目の平均値を示したものです。



保護者の皆様、地域の皆様、一年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。平成29年度も「自立する一校小の子ども」の育成を目指して、教職員一丸となって取り組む所存です。これからも児童の一層の成長のためにご支援をいただきますようお願いいたします。